

## 第6章 由良川の川づくりの進め方

これからの由良川の川づくりを進めるに当たっては、地域を中心とした人々が川に対して期待している想いを住民と行政が一緒になって実践していくことが基本となります。

由良川の歴史、文化、社会背景、自然条件などを踏まえ、由良川の特徴の確認とさらなる新しい発見をしながら考えていくことが求められており、川でつながれた由良川流域をひとつのくくりとして、さまざまな立場の人々の川に対する想いを語り合うことが必要となります。

そのため地域住民団体等との連携交流を進め、さらには流域住民、学識経験者、企業、関係自治体および河川管理者が参加して今後の由良川における人と川との関わり方、川づくりのありかたについての意見交換・討論ができる自由な場として「流域委員会」を発展させた形で「由良川流域懇談会(仮称)」を設置します。そしてここでの調査・研究、意見交換を通じ技術面や予算面で可能なものから順に具体化することにより由良川の川づくりを推進していきます。

なお、今回策定する河川整備計画は、計画策定時点が最終形ではなく、今後とも流域住民等とのコミュニケーションを十分に図りながら事業を実施し、必要に応じ整備計画の変更にも柔軟に対応していきます。